

2024 年度 授業研究セミナー 道北ブロック 地歴公民 指導案

○○○○高等学校
教諭 ○○ ○○

I. 単元指導案

I-1. 単元名

- 教科書：帝国書院「高等学校 新地理総合」
第2部 国際理解と国際協力
第2章 地球的課題と国際協力（教科書 p. 145～188）

I-2. 単元の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界各地でみられる地球的課題について、持続可能な社会の実現に向けた各国の取り組みと国際協力が必要であることを理解する。	世界各地でみられる地球的課題について、「空間的相互依存作用」「地域」といった地理的な見方・考え方を活用して持続可能な社会の実現に向けて現状・要因・解決策を考察する。	地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現に向けて主体的に課題を探求する態度を養う。

I-3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界各地でみられる地球的課題について、持続可能な社会を目指した各国の取り組みと国際協力が必要であることを理解し、資料から情報を適切にまとめている。	世界各地でみられる地球的課題について、「空間的相互依存作用」「地域」といった地理的な見方・考え方を活用して持続可能な社会の実現に向けて現状・要因・解決策を多面的・多角的に考察している。	地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現に向けて主体的に課題を探究している。

I-4. 生徒観

対象クラスは1年生である。授業での反応は控えめだが、スライド発表などの活動においては積極的に取り組むことができる生徒が多い。1年生では地理総合と並行して公共を履修しており、本単元に関連する分野について今後学ぶ予定である。

また、研究授業で扱う人口問題に関して、導入で「地域」の観点から世界、国、地方自治体など様々なスケールでの人口増減を確認する活動の中で、東川町や東神楽町など生徒が居住する自治体の人口増に触れる。また、資料の中で移民政策に触れることによって、次時の「発展途上国の人口問題」とのつながりの中で「空間的相互依存作用」の視点を身につけさせたい。

I－5. 単元の指導計画（10時間）

時数	主題	授業内容	授業の問い合わせ (MQ)	評価場面
単元全体にかかる問い合わせ：地球全体の課題の原因と持続可能な社会の構築に向けた解決策は？				
第1次 1時間	導入	複雑に絡み合う 地球的課題	地球的課題はどのように複雑に絡み合っているのか？	【主】ポートフォリオ ※学習前に単元全体にかかる問い合わせへの予想を立てる →その後の変容を見取る
第2次 6時間	自然システム的アプローチ	地球温暖化への対策	地球温暖化はなぜ起こり、どのような解決策が考えられるのか？	【知】単元テスト 【思】プリントのMQへの回答内容 【主】ポートフォリオ
		熱帯林の破壊への対策	熱帯林破壊はなぜ起こり、どのような解決策が考えられるのか？	
		砂漠化の進行への対策	砂漠化はなぜ起こり、どのような解決策が考えられるのか？	
	社会・経済システム的アプローチ	先進国の人団問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本時</div>	先進国の人団問題はどのような問題で、どのような解決策が考えられるのか？	
		発展途上国の人団問題	発展途上国の人団問題はどのような問題で、どのような解決策が考えられるのか？	
		居住・都市問題	先進国と発展途上国の居住・都市問題はなぜ起こり、どのような解決策が考えられるのか？	
第3次 3時間	追究テーマ探究	持続可能な社会づくり という観点から、以下のテーマについてグループで現状と解決策を考察し、スライド作成 ①海洋汚染 ②エネルギー利用 ③水利用 ④教育の普及 ⑤食料生産 ⑥感染症予防	(単元全体にかかる問い合わせへの解を表現する)	【思】スライド 【主】単元全体にかかる問い合わせへの回答内容

II. 研究授業指導案

II-1. 基本情報

- 日時：2024年11月19日（木）4校時（11:55～12:45）
- 授業クラス：1年A組（男子17名 女子19名 計36名）

II-2. 本時の目標

- 先進国の人団問題の解決策について、持続可能な社会づくりという観点から諸資料を主体的に考察し、表現する。

II-3. 授業展開（50分）

※MQ：本時の問い合わせ MQを考えるための問い合わせ

時間	◆学習内容 ◇学習活動	●想定される回答 ○指導上の留意点
導入 10分	<p>MQ：先進国の人団問題はどのような問題で、どのような解決策が考えられるのか？</p> <p>SQ①：先進国の人団はどのように変化しているのか？</p> <p>◆日本の人口の変化について考察する。 ◇統計ダッシュボードで日本の人口ピラミッドの変化を読み取り、先進国の人団転換についてまとめる。</p>	<p>○スクリーンとプロジェクターを使用し、一齊講義形式で行う。</p>
展開 35分	<p>※展開以降は自由進度学習で行う。 ◇以下の2つのSQについて、生徒は自分で/他者と協力して、諸資料や自分で調べたことから見つけた/考えた答えをスプレッドシートに入力する。</p> <p>SQ②：先進国は人口転換によってどのような問題が起こっているのか？</p> <p>◆少子高齢社会・人口減少社会について考察する。 ◇少子高齢社会・人口減少社会によってどのような社会問題が起こると考えられるか予想する。</p> <p>SQ③：先進国の人団問題を解決するにはどうしたらよいのか？</p> <p>◆先進国の人団問題の解決策を考える。 ◇諸資料や自分で調べたことを参考に、先進国の人団問題の解決策を考える。</p> <p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ①フランスの取り組み ②スウェーデンの取り組み ③アメリカの取り組み 	<p>○生徒が自分で学習を進められるよう、プリントに進め方を載せる。</p> <p>●働き手の減少、年金制度の崩壊、医療福祉制度の崩壊</p>
まとめ 5分	<p>◆MQについて考察し、発表する。 ◇MQについてSQ①～③を踏まえて考察する。 →スプレッドシートをクラスルームで提出。</p>	<p>○机間巡回を行い、よく書けている生徒に発表をさせる。</p>